

Drug Information News (平成 29 年 12 月)

八尾市立病院 医薬品情報管理室

1. 医薬品・医療機器安全性情報(No.348 平成 29 年 11 月)の概要

【詳細は医薬品医療機器総合機構 HP(<https://www.pmda.go.jp/>)から参照可能です】

2. 製薬企業からの医薬品の安全使用(取り違え等)に関するお知らせ

1. 医薬品・医療機器安全性情報(No.348 平成 29 年 11 月)の概要

(1) 重篤副作用疾患別対応マニュアル改定事業について

厚生労働省では、平成 17 年度から平成 22 年度にかけて、「重篤副作用疾患別対応マニュアル」が作成されています。各マニュアルについては、作成から 10 年程度経過していることから、最新の知見を踏まえた改定・更新を 5 年で実施することとして、平成 28 年度から改定事業が開始されましたので、進捗や今後の進め方等について紹介されています。

(2) 家庭用電気マッサージ器による事故の防止について

家庭用電気マッサージ器の不適切な使用による死亡事故が繰り返し発生していることから、家庭用電気マッサージ器の適正使用のお願いと、使用中・回収となった製品の周知のお願い等について紹介されています。

(3) 重要な副作用等に関する情報:商品名は当院採用薬で掲載しております。

1. レベチラセタム: イーケブラ錠 250mg・500mg、イーケブラドライシロップ 50%、イーケブラ点滴静注 500mg
2. リナグリプチン: トラゼンタ錠 5mg

(4) 使用上の注意の改訂について(その 289):商品名は当院採用薬で掲載しております。

1. <抗てんかん剤>レベチラセタム: イーケブラ錠 250mg・500mg、イーケブラドライシロップ 50%、イーケブラ点滴静注 500mg
2. <その他の消化器官用薬>クロルヘキシジン塩酸塩・ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ヒドロコルチゾン酢酸エステル・濃ベンザルコニウム塩化物液 50
3. <外用用殺菌消毒剤>クロルヘキシジングルコン酸塩: クロルヘキシジングルコン酸塩消毒用液 EW0.5%「NP」、0.05W/V%マスキン水、0.5W/V%マスキン水
4. <糖尿病用剤>リナグリプチン: トラゼンタ錠 5mg
5. <主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの その他の抗生物質製剤>
 - (1)アモキシシリン水和物: アモキシシリンカプセル 250mg「日医工」、アモキシシリン細粒 10%「タツミ」
 - (2)ポノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン: ポノサップパック 400・800
 - (3)ポノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール: ポノピオンパック
 - (4)ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン
 - (5)ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール
 - (6)ランソプラゾール・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン
 - (7)ランソプラゾール・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール
6. <主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>クララン酸カリウム・アモキシシリン水和物: オーグメンチン配合錠 250RS
7. <合成抗菌剤>モキシフロキサシン塩酸塩(経口剤): アベロックス錠 400mg
8. <一般用医薬品>
 - (1)クロルヘキシジングルコン酸塩含有製剤
 - (2)クロルヘキシジン塩酸塩含有製剤

9. <医薬部外品>

(1)クロルヘキシジングルコン酸塩含有製剤

(2)クロルヘキシジン塩酸塩含有製剤

(5) 市販直後調査の対象品目一覧(省略)

2. 製薬企業からの医薬品の安全使用(取り違え等)に関するお知らせ

● 「リクシアナ錠」と「リフキシマ錠」の販売名類似による取り違え注意のお願い

<http://www.pmda.go.jp/files/000220430.pdf>

■販売名の類似により、調剤時の薬剤取り違え事例が発生しています。

医療機関において、処方・調剤の際には、販売名、効能・効果および用法・用量をご確認下さい。

【内容】

第一三共株式会社製品「リクシアナ®錠(一般名:エドキサバントシル酸塩水和物):経口 FXα 阻害剤(抗凝固剤)」と、あすか製薬株式会社製品「リフキシマ®錠(一般名:リファキシミン):難吸収性リファマイシン系抗菌薬(肝性脳症における高アンモニア血症改善薬)」につきまして、販売名が類似していることから、誤った調剤による死亡例が報告されました。

「リクシアナ®錠」または「リフキシマ®錠」を処方・調剤いただく際には、**販売名、効能・効果**および**用法・用量**をご確認いただき、また、処方時に薬剤オーダーリングシステム等をご使用の場合は、販売名の前に薬効を記載する等の予防策を検討するなど、取り違え防止に一層のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

<事例>

リフキシマ®錠を処方された肝性脳症の患者に、誤って抗凝固剤のリクシアナ®錠が調剤されました。

結果として、通常用量を超えたリクシアナ®錠が複数回投与され、消化管出血が発現し、死亡に至りました。